










E30HTを管理する











E30HTで行える設定について



E30HTはお客様の利用に合わせてさまざまな設定を行うことができます。[スタート]→[設定] をタップした後、[個人用]、[システム]および[接続]タブをタップすると各種設定アイコンが表示されます。

個人用タブ

アイコン	説明
	Today: Today画面に表示されるアイテムや画面の配色(テーマ)をカスタマイズできます。
	オーナー情報: E30HTに個人情報を入力できます。
	ボイス短縮ダイヤル: 音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行するための音声(ボイスタグ)を管理したり、録音して登録することができます。
	ボタン: 通話ボタンにプログラムや機能を割り当てることができます。
	メニュー: スタートメニューに表示するプログラムの設定ができます。
	ロック: パスワードの設定ができます。
	入力: 各入力方式にオプションの設定ができます。
	電話: 着信音などの電話の設定をカスタマイズしたり、au ICカードに暗証番号(PIN)を設定できます。
	音と通知: イベントやプログラムの動作音のオン/オフ、およびイベントごとの通知音やバイブレーションなどを設定できます。

システムタブ

アイコン	説明
	G-Senser: E30HTの水平位置を設定します。
	TouchFLO: 画面をスクロールまたはパンするときの効果音の設定、スタートメニューの表示サイズやステータスアイコンの拡大表示の設定ができます。
	Windows Update: MicrosoftのWebサイトへリンクし、E30HTのWindows Mobileを最新のセキュリティパッチや修正版に更新します。
	エラー報告: E30HTのエラー報告機能の有効/無効を設定します。この機能が有効のときプログラムエラーが発生すると、プログラムとE30HTの状態を示す技術データがテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、Microsoftのテクニカルサポートセンターにログが送信されます。
	カスタマー フィードバック: E30HTのシステムの使用状況に関する匿名情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定できます。
	ストレージをクリア: メモリからすべてのデータとファイルを消去し、E30HTをお買い上げ時の初期設定に戻します。
	タスクマネージャ: 終了ボタン(☒)でプログラムを終了するか、またはプログラム画面を非表示にするかを設定します。詳しくは、「タスクマネージャ」(▶P.156)をご参照ください。
	バージョン情報: E30HTで使用されているWindows Mobileバージョンやプロセッサタイプなどの基本情報が表示されます。E30HTに名前を設定することもできます。
	プログラムの削除: E30HTにインストールしたプログラムを削除できます。
	メモリ: E30HTのメモリ割り当て状態とmicroSDメモリカード情報を表示します。

アイコン	説明
	地域 :使用する言語や、E30HTで表示する数字、通貨、日時の形式を設定できます。
	外付け GPS :必要に応じて適切なGPS通信ポートを設定します。E30HTにGPS にアクセスするプログラムがインストールされている場合や、E30HTにGPS受信機を接続してある場合に必要となります。詳しくは、外付け GPSを開いているときに、[スタート]→[ヘルプ]をタップして表示されるE30HTのヘルプをご参照ください。
	大きいタイトルバー :ステータスアイコンの拡大表示を設定します。[TouchFLO]の[ステータスアイコンをタップしたときにシステムの状態画面を表示する]を変更すると、本設定も変更されます。
	時計とアラーム :E30HTの日付や時刻を調整したり、曜日や時刻を指定してアラームを設定できます。
	暗号化 :microSDメモ리카ードに保存されるファイルを暗号化します。暗号化されたファイルは、E30HTのみ読み取り可能です。
	画面 :タッチスクリーンの補正、文字サイズの変更などができます。
	管理プログラム :社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。
	終了ボタンの長押し :終了ボタンを長押ししたときの動作を設定します。
	装置情報 :ファームウェアのバージョン、ハードウェア、IDなどの情報を表示します。
	証明書 :E30HTにインストールされている証明書についての情報を表示します。
	電源 :電池残量を表示します。また、電池を節約するために、画面をオフにし、E30HTをスリープモードに切り替えるまでのタイムアウト時間を設定できます。

接続タブ

アイコン	説明
	Bluetooth :Bluetooth [®] 機能をオンにして、E30HTを検出可能モードに設定すると、他のBluetooth [®] デバイスからE30HTを検出することができます。
	Comm Manager :E30HTの通信機能(通話/パケット通信、Bluetooth [®] 、ワイヤレスLAN)やDirectPush機能のオン/オフを切り替えます。
	USBからSPCへ :USBケーブルを使用して、パソコンとE30HTを接続するときの接続タイプを設定できます。
	Wi-Fi :有効なワイヤレスネットワークを検出します。
	グローバル機能 :E30HTを使用するエリアやPRL(ローミングエリア情報)を設定します。
	ドメインへの登録 :E30HTを会社のドメインに登録して、社内システム管理者がE30HTを管理できるように設定できます。
	ネットワーク接続設定 :利用する接続先を選択します。手動で設定した接続先は、日本国内のみ有効です。
	ビーム :E30HTが Bluetooth [®] の着信ビームを受信するかどうかを設定します。
	ワイヤレスLAN :有効なワイヤレスネットワークに関する情報を表示し、ワイヤレスLAN設定をカスタマイズします。
	接続 :E30HTがプライベートのローカルネットワークに接続できるようにパケット通信、Bluetooth [®] などのモデム接続を設定します。
	通話オプション :auの通話オプションの設定を行います。

各種設定

オーナー情報

Today画面にオーナー情報を表示することができます。

■ オーナー情報を入力する

- 1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[オーナー情報]をタップ
- 2 [オーナー情報]タブで個人情報を入力



◎ Today画面にオーナー情報が表示されていない場合は、[スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[Today] をタップします。[アイテム] タブで [オーナー情報]のチェックボックスを選択します。

■ E30HTをオンにしたときにオーナー情報を表示する

E30HTの電源を入れたときやスリープモードを解除したときに、「マイインフォ」画面が表示されるように設定することができます。この画面には所有者の個人情報が表示されます。

- 1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[オーナー情報]をタップ
- 2 [オプション]タブで[オーナー情報]をチェック
- 3 その他の説明を表示したい場合は、[メモ]タブをタップ→説明を入力(例: 拾った方はお届けください)
- 4 [オプション]タブで[メモ]をチェック→[ok]をタップ

日付と時刻

■ 日付と時刻を設定する

日付と時刻は、ネットワークから通知される情報をもとに自動で設定されます。



- ◎ [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[時計とアラーム]→[時刻]タブで日付、時刻を手動で変更できますが、ネットワークからの情報により自動で補正されると、変更は無効となります。
- ◎ 同期を行うと、E30HTの時刻はパソコンの時刻に合わせて変更されますが、ネットワークからの情報により自動で補正されると、変更は無効となります。

■ 別の場所の日付と時刻を設定する

別のタイムゾーンを訪れたり、別の場所にいる人と通信する場合は、その場所を訪問先のタイムゾーンとして設定することができます。

- 1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[時計とアラーム]
- 2 [時刻]タブで[訪問先]をタップ
- 3 正しいタイムゾーンを選択→日付/時刻を変更

■ 地域設定

E30HTでの数字、通貨、日付、時刻の表示方法は地域設定により変更することができます。

- 1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[地域]をタップ
- 2 [地域]タブで、一覧から使用する地域を選択

3 さらに詳細設定を行う場合は、該当するタブをタップ→設定するオプションを選択



- ◎ 地域設定を変更しても、E30HTのオペレーティングシステムの言語は変更されません。
- ◎ 選択された地域により、他のタブで使用可能となるオプションが若干異なります。

スタートメニューをカスタマイズする

スタートメニューに表示されるアイテムを選択することができます。

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[メニュー]をタップ

2 スタートメニューに表示するアイテムをチェック 最高7つまで選択できます。



- ◎ スタートメニューの[プログラム]にフォルダやショートカットを作成することもできます。パソコンのActiveSyncで[エクスプローラ]をクリックしてください。モバイルデバイスウィンドウで[マイWindows Mobileデバイス]→[Windows]→[スタートメニュー]をダブルクリックして、表示したいフォルダやショートカットを作成します。追加したアイテムは、同期後に表示されます。パソコンとの同期については、「パソコンと同期する」(▶P.60)をご参照ください。

デバイス名

デバイス名は、次のような場合にE30HTを識別するための名称です。

- ・ パソコンと同期するとき
- ・ ネットワークに接続するとき
- ・ バックアップから情報を復旧するとき



- ◎ 1台のパソコンで複数のデバイスを同期する場合、デバイス名はすべて異なる必要があります。パソコンとの同期に関する詳細は、「パソコンと同期する」(▶P.60)をご参照ください。

デバイス名を変更する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[バージョン情報]をタップ

2 [デバイスID]タブをタップ

3 名前を入力



- ◎ デバイス名は必ずA～Zの英文字、または0～9の数字で始まる必要があります。また、スペースは使用できません。単語を区切りたい場合は_(アンダースコア)をご使用ください。

画面設定

バックライトを調整する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[電源]→[バックライト]タブをタップ

- 2** スライダーを動かして、画面の明るさを調整
右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。



◎明るく設定すると電池の消耗が早くなります。

■ 一定時間後にバックライトを消すよう設定する

- 1** [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[電源]→[詳細設定]タブをタップ
- 2** [バックライトを消すまでのアイドル時間]をチェック→時間を選択



◎アイドル時間が長いと電池の消耗が早くなります。

■ 画面の文字を大きくする/小さくする

- 1** [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[画面]→[文字サイズ]タブをタップ
- 2** スライダーを移動
文字サイズを大きくしたり、小さくしたりできます。

■ ボタンの設定

■ 通話ボタンを長押ししたときの動作を設定する

- 1** [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[ボタン]→[プログラム ボタン]タブをタップ

- 2** [プログラムの割り当て]で、通話ボタンの長押しに割り当てるプログラムやショートカットをタップ

- 3** [ok]をタップ

■ 終了ボタンを長押ししたときの動作を設定する

- 1** [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[終了ボタンの長押し]をタップ
- 2** 終了ボタンを長押ししたときの動作を選んでチェック
- 3** [ok]をタップ

■ アラームと通知

■ アラームを設定する

- 1** [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[時計とアラーム]→[アラーム]タブをタップ
- 2** [<アラームの詳細>]をタップ→アラームの名前を入力
- 3** アラームを設定する曜日をタップ
必要に応じて複数の曜日を選択できます。
- 4** 時間をタップ→アラーム時刻を設定→[ok]をタップ
- 5** アラームアイコン(🔔)をタップ→アラームの種類を指定→[ok]をタップ
アラームにはサウンドを鳴らす、サウンドを繰り返す、ライトを点滅する、パイプの4種類があります。
- 6** 設定するアラームをチェック→画面右上の[ok]をタップ

■ イベントやアクションの通知方法を設定する

- 1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[音と通知]をタップ
- 2 [サウンド]タブでボックスをチェック→通知方法を選択
- 3 [通知]タブの[イベント]でイベントを選択→通知方法を選択

特殊なサウンド、メッセージ、LEDの点滅などの方法で通知することができます。

- 4 [ok]をタップ



◎ サウンドとLEDの点滅をオフにすると、電池を節約することができます。

■ 電話から鳴る音を消す(マナーモード)

マナーモードを設定すると、振動で着信をお知らせします。

- 1 タイトルバーのアイコンエリアをタップ
- 2 スピーカーアイコン(🔊)をタップ
サイレントモード/マナーモード設定中は、表示されるアイコンが異なります。
- 3 [マナーモード]をタップ



《音量設定画面》



- ◎ マナーモードを解除する場合は、音量設定画面で[マナーモード]以外をタップして解除します。
- ◎ マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音とセルフタイマー音は鳴ります。

電話の設定をカスタマイズする

電話の着信音や着信パターン、番号を入力するときのボタン音など、電話の各種設定をカスタマイズできます。

- ・ 電話画面で[メニュー]→[オプションの表示]をタップします。
- ・ [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[電話]をタップします。

着信音を設定する

■ 着信音や着信パターンを変更する

- 1 電話画面で [メニュー]→[オプションの表示]→[電話]タブをタップ
- 2 [着信音]のリストから使用するサウンドをタップ



- ◎ インターネットからダウンロードしたり、パソコンからコピーした wav、mid ファイルを着信音として使用することもできます。まずサウンドファイルをE30HTの¥Windows ¥Ringsフォルダにコピーし、このサウンドを着信音リストから選択して設定します。ファイルのコピー方法に関する詳細は、「ファイルをコピー/管理する」(▶P.137)をご参照ください。

- 3 [着信パターン]のリストから着信パターンをタップ
- 4 [ok]をタップ

キーパッド音

キーパッドで番号を入力するときのボタン音を変更することができます。操作音(長)に設定すると、ボタンを押している間はずっと音を発します。留守電からメッセージを聞くなど、トーンによる操作で問題が生じた場合は、こちらをご使用ください。操作音(短)に設定すると、ボタンを押したときに1~2秒だけ音を発します。オフに設定すると、操作音は聞こえません。

- 1 電話画面で [メニュー]→[オプションの表示]→[電話] タブをタップ
- 2 [キーパッド]のリストから任意のオプションをタップ
- 3 [ok]をタップ

Comm Managerを使う

Comm Managerでは、電話機能のオン/オフを切り替えたり、データ接続を管理することができます。

■ Comm Managerを開く

- 1 [スタート]→[設定]→[接続]タブ
→[Comm Manager]をタップ



- ① フライトモードのオン/オフを切り替えます。フライトモードをオンにすると、電話、Bluetooth[®]機能、ワイヤレスLANがオフになります。
- ② 電話機能のオン/オフを切り替えます。着信音やその他の設定を行うには、[スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[電話]をタップします。電話設定の詳細は、「電話の設定をカスタマイズする」(▶P.151)をご参照ください。
- ③ Bluetooth[®]のオン/オフを切り替えます。E30HTのBluetooth[®]を設定するには、[スタート]→[設定]→[接続]タブ→ [Bluetooth]をタップします。詳しくは、「Bluetooth[®]について」(▶P.114)をご参照ください。
- ④ ワイヤレスLAN のオン/オフを切り替えます。[スタート]→[設定]→[接続]タブ →[ワイヤレスLAN]をタップし、E30HTのワイヤレスLANを設定します。
- ⑤ DirectPush機能のオン/オフを切り替えます。(▶P.81)
- ⑥ 有効なデータ接続を切断します。(ここでデータ接続をオンにすることはできません)

E30HTを保護する

■ PINコードでau ICカードを保護する

PINコードを設定することで、au ICカードが不正にアクセスされるのを防ぐことができます。お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。

後からPINコードを変更することができます。

1 電話画面で[メニュー]→[オプションの表示]→[その他]タブをタップ

2 [電話使用時に暗証番号を入力]をチェック

PINコードは、[暗証番号の変更]をタップして、いつでも変更できます。

3 暗証番号を入力→[ok]をタップ



◎ 緊急電話番号(110、119、118)はPINコードを入力しなくてもいつでも発信できます。

■ パスワードでE30HTを保護する

パスワード保護を利用すると、不正アクセスからE30HTを保護することができます。E30HTの電源を入れるたびにパスワードが要求されるので、E30HTのデータを確実に守ることができます。E30HTを使い始めるときに、独自のパスワードを設定します。

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[ロック]をタップ

2 [パスワード入力が必要になるまでの時間]をチェック→パスワード入力が必要となるまでの時間に「0分」を選択

3 [パスワードの種類]で使用するパスワードの種類を選択→パスワードを入力→確認のためパスワードを再入力

4 [ヒント]タブをタップ→パスワードを忘れた場合のヒントとなる説明を入力

5 [ok]をタップ

次にE30HTの電源を入れたときに、パスワードの入力が要求されます。



- ◎ E30HTがネットワークに接続するよう設定されている場合は、英文字と数字を組み合わせたパスワードを使用するとセキュリティ効果が高まります。
- ◎ 他人が考え付きやすいパスワードやヒントは避けてください。
- ◎ 「パスワード入力が必要になるまでの時間」に「0分」を設定した場合、無操作状態では1分経過後、スリープを解除したときはすぐにロック状態になります。「0分」以外を設定した場合は、設定した時間無操作の状態が続いたときにロックがかかります。

■ パスワード保護を解除する

1 パスワードを要求する画面でパスワードを入力

2 [ロックの解除]をタップ



- ◎ パスワードを忘れてしまった場合は、フォーマット(▶P.158)をしなければE30HTを使用することはできません。この場合、E30HTはお買い上げ時の状態に戻され、登録したデータはすべて消去されます。
- ◎ 間違ったパスワードを入力するとE30HTの反応が遅くなります。
- ◎ 「[ヒント]タブでヒントを登録している場合は、パスワードを5回間違えるとヒントが表示されます。

■ microSDメモ리카ードのファイルを暗号化する

- 1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[暗号化]をタップ
- 2 [メモ리카ード内のファイルを暗号化する]をチェック

memo

- ◎ [メモ리카ード内のファイルを暗号化する]を設定している状態、または以前に設定していた場合は、フォーマットを行う前にmicroSDメモ리카ード内のすべてのファイルをバックアップしてください。暗号化したmicroSDメモ리카ードのファイルにアクセスすることができなくなります。microSDメモ리카ードとパソコン間でファイルを転送するには、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを利用してください。(▶P.58) 処理が終了したら、ファイルをmicroSDメモ리카ードにコピーし直してください。
- ◎ 暗号化されたファイルはE30HTでのみ確認することができます。
- ◎ E30HTにおいては、暗号化されたファイルは他のファイルと同様、通常の操作で開くことができます。

プログラムの削除

■ プログラムを削除する

自分でインストールしたプログラムのみ、削除することができます。E30HTにあらかじめインストールされているプログラムは削除できません。

- 1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[プログラムの削除]をタップ
- 2 [データ記憶用メモリにあるプログラム]の一覧から削除するプログラムを選択→[削除]をタップ
- 3 [はい]をタップ→[ok]をタップ

メモ리를管理する

プログラムが不安定になったり、プログラムメモリが少なくなってきたら、プログラムを停止してください。

■ 利用可能なメモリ残量を確認する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[メモリ]をタップ

2 [メイン]タブをタップ

ファイルやデータ用に割り当てられたメモリ容量と、プログラムメモリの容量が表示されます。また、使用済みメモリ容量と残りのメモリ容量も表示されます。

■ microSDメモリカードの空き容量を確認する

microSDメモリカードの利用可能な残量を確認することができます。

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[メモリ] をタップ

2 [メモリカード]タブをタップ

■ 利用可能なメモリの空き容量を増やす

メモリの空き容量を増やすには、次のような方法があります。

- 現在使用していないプログラムを終了します。
- ファイルをmicroSDメモリカードに移動します。[スタート]→[プログラム]→[ファイル エクスプローラー]をタップします。ファイルをタップしたままにし、ポップアップメニューから [切り取り] をタップします。microSDメモリカードのフォルダを参照し、[メニュー]→[編集]→[貼り付け] をタップします。
- 不要なファイルを削除します。[スタート]→[プログラム]→[ファイル エクスプローラー]をタップします。ファイルをタップしたままにし、ポップアップメニューから[削除]をタップします。

- 大きなファイルを削除します。一番大きなファイルを見つけるには、[スタート]→[プログラム]→[検索]をタップします。[種類] の一覧で [64KB より大きいファイル] をタップし[検索]をタップします。
- Internet Explorer Mobileで一時インターネットファイルと履歴情報を消去します。
- 使用していないプログラムを削除します。
- E30HTをリセットします。

■ メモリに関するご注意

E30HTのメモリには、各種ファイル、画像、メールを保存するための「データ記憶用」とプログラムを実行するための「プログラム実行用」があります。なお、データ記憶用のメモリが減少すると以下の動作となりますので、「利用可能なメモリの空き容量を増やす」(▶P.155)を参照いただき、データ記憶用メモリの空き容量を確保してください。



- データ記憶用メモリが0.5MB以下になると、警告のポップアップ画面が表示され、各種ファイルおよび画像の保存ができなくなります。(Cメール、電子メールの保存は可能です。)
- データ記憶用メモリがいっぱいになると、Cメール、電子メールはプログラム実行用メモリに保存されます。ただし、受信メールとしては表示されず、この状態で電源を切ると、これらのデータは完全に消去されますのでご注意ください。(データ記憶用メモリの空き容量が確保されると、自動的にデータ記憶用メモリへ移行され、受信メールとして表示されます。)
- データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリがいっぱいになると、Cメール、電子メールが受信できなくなります。(メールサーバーで保管されます。)

タスクマネージャ

タスクマネージャまたはToday画面のクイックメニューから実行中のプログラムを終了し、メモリスペースを解放することができます。

■ タスクマネージャを起動する

次のいずれかの方法でタスクマネージャを起動します。


- Today画面右上のをタップしてクイックメニューを表示し、をタップします。
- [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[タスクマネージャ]をタップします。

■ 実行中のプログラムを切り替える


次のいずれかの方法で実行中のプログラムを切り替えます。

- クイックメニューからプログラム名をタップします。
- タスクマネージャ画面で[実行]タブをタップし、プログラム名をタップしたまま[アクティブ化]をタップします。


■ 実行中のプログラムを終了する

お買い上げ時の設定では、各プログラムの終了()ボタンをタップしても、プログラムを終了できません。

次のいずれかの方法で実行中のプログラムを終了します。

- クイックメニューからプログラム名の右にあるをタップします。
- タスクマネージャ画面で終了するプログラムにチェックを入れ、[選択したアイテムを終了]をタップします。



- ◎ すべてのプログラムを終了する場合は、クイックメニューでをタップするか、タスクマネージャ画面で[すべて終了]をタップします。
- ◎ タスクマネージャ画面で[メニュー]をタップして[選択したアイテム以外すべて終了]をタップすると、チェックしたプログラム以外をすべて終了できます。

■ プログラムを例外プログラムリストに追加する

例外プログラムリストに追加すると、[選択したアイテムを終了]や[すべて終了]をタップしてもプログラムを終了しないように設定できます。

1 タスクマネージャ画面で[実行]タブをタップ

2 プログラム名をタップしたまま→[例外に追加]をタップ

3 [ok]をタップ



- ◎ 例外プログラムリストから削除する場合は、[例外]タブで削除するプログラムにチェックを入れて[削除]をタップします。

■ 終了()ボタンを設定する

1 タスクマネージャ画面で[ボタン]タブをタップ

2 ["X"ボタンで実行中のプログラムを終了]をチェック

["X"ボタンで実行中のプログラムを終了]のチェックを外すと、終了ボタンをタップ(または1秒以上タップ)しても画面を閉じるのみで、プログラムを終了することはできません。

3 終了ボタンでプログラムを終了するときの動作を選択

["X"をタップしてプログラムを終了]を選択した場合、終了ボタンをタップすると、プログラムを終了できます。

["X"をタップアンドホールドしてプログラムを終了]を選択した場合、終了ボタンを1秒以上タップすると、プログラムを終了できます。

4 [ok]をタップ

■ クイックメニューを有効にする

- 1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[タスクマネージャ]→[ボタン]タブをタップ
- 2 [Today]画面でクイックメニューを有効化]をチェック
- 3 [ok]をタップ

memo

- ◎ クイックメニューの詳細については、「クイックメニュー」(▶P.34)をご参照ください。
- ◎ [その他]タブをタップすると、クイックメニューで表示する実行中のプログラムの並び順などを設定できます。

E30HTをリセットする

リセットには、実行中のプログラムを強制終了してE30HTを再起動するソフトリセットと、E30HT内のデータや各種設定内容をすべて削除するフォーマットの2つがあります。

項目	設定	データ
ソフトリセット	削除されない	削除されない (ただし編集中データは削除)
フォーマット	お買い上げ時の状態にリセット	すべて削除 (microSDメモ리카ードのデータを除く)

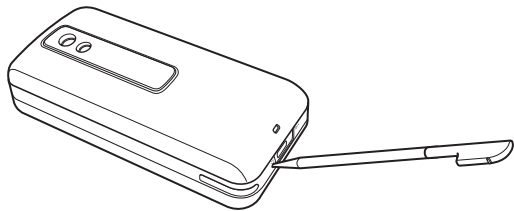
フォーマットを行うと、連絡先やメールに保存されているメッセージなど、お買い上げ以降に登録されたすべてのデータおよび設定内容は削除されます。

ソフトリセット

E30HTを使用中に、リセットが必要になる場合があります。E30HTをソフトリセットすると、アクティブプログラムメモリがすべて消去され、すべてのプログラムがシャットダウンされます。E30HTの動作が極端に遅くなったり、プログラムの動作が不安定になったりしたときには、ソフトリセットが有効です。また、インストールした後にソフトリセットが必要なプログラムもあります。プログラム実行中にソフトリセットを行うと、保存していない情報はすべて失われます。

■ ソフトリセットを行う

底面のリセットボタンをスタイラスで押し込みます。E30HTが再起動し、Today画面が表示されます。



■ フォーマット

フォーマットは、システムにソフトリセットでは解決できない問題が生じた場合に実行します。フォーマットを実行すると、E30HTはお買い上げ時の状態にリセットされます。ご自身でインストールしたプログラム、入力したデータ、カスタム設定などはすべて失われます。Windows Mobileソフトウェアと、お買い上げ時にインストールされていたプログラムだけが残ります。

■ スタートメニューからフォーマットを行う

- 1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[ストレージをクリア]をタップ
- 2 "1234"と入力→[はい]をタップ

■ 強制的にフォーマットを行う

「スタートメニューからフォーマットを行う」の操作でフォーマットできない場合は、以下の操作でフォーマットを行えます。

- 1 E30HTの電源を切る
- 2 Enterボタンと音量(下)ボタンを同時に押したまま電源ボタンを長押しして電源を入れる

This operation will delete all your personal data, and reset all settings to manufacturer default. Press Volume to restore manufacturer default, or press other keys to cancel.

画面に次のような警告メッセージが表示されるまで、そのまま押し続けてください。
(訳)「フォーマットを行うと、本機の中のですべてのデータや設定内容が削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。音量(上)ボタンを押すとフォーマットを実行します。フォーマットを中止する場合は、音量(上)以外のボタンを押してください。」

- 3 音量(上)ボタンを押してフォーマットを実行
フォーマットを中止する場合は、その他のキーを押します。

memo

- フォーマットを行うと、E30HTはお買い上げ時の状態に戻ります。E30HTに後からインストールしたプログラムやユーザーデータなどのバックアップを取ってから実行することをおすすめします。
- microSDメモリカード内のファイルを暗号化を設定している状態、または以前に設定していた場合は、フォーマットを行う前にmicroSDメモリカード内のすべてのファイルをバックアップしてください。暗号化したmicroSDメモリカードのファイルにアクセスすることができなくなります。microSDメモリカードとパソコン間でファイルを転送するには、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを利用してください。処理が終了したら、ファイルをmicroSDメモリカードにコピーし直してください。

システム情報を確認する

E30HTの技術仕様（プロセッサタイプや速度、メモリサイズなど）は [設定] から確認することができます。

■ オペレーティングシステムのバージョンを確認する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[バージョン情報]をタップ

E30HTのオペレーティングシステムのバージョンは、バージョン情報画面の上方に表示されます。

■ E30HTの詳細を確認する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[バージョン情報]をタップ

[バージョン]タブに、E30HTのプロセッサタイプ、メモリ容量などの重要な情報が表示されます。

Windows Update

Windows UpdateのWebサイトへリンクし、E30HTのWindows Mobileを最新のセキュリティパッチや修正版に更新します。



memo

- お買い上げ時は更新ができない場合があります。
- 更新データをダウンロードするにはインターネットに接続する必要があります。

■ Windows Updateの設定

初めてWindows Updateを行うときは、更新をチェックする方法を選択する必要があります。

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[Windows Update]をタップ

2 更新のセットアップ画面で[次へ]をタップ

3 更新をチェックする方法を[手動] / [自動]から選択→[次へ]をタップ



memo

- [自動]を選択すると、データ通信プランを使用するかどうかを設定する画面が表示されます。[データプランを使用して更新をチェックし、ダウンロードします]にチェックを入れると、パケット通信によって更新をチェックします。チェックを外すと、パソコンとのUSB接続によるネットワーク経由で更新をチェックします。
契約したプランによってはパケット通信費用がかかります。

4 [完了]をタップ

■ Windows Updateの設定を変更する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[Windows Update]をタップ

2 [メニュー]をタップ→変更したい項目を選択

- データプランを使用して更新をチェックするかどうかの設定を変更する場合は、[接続]をタップします。
- 更新をチェックする方法を変更する場合は、[スケジュールの変更]をタップします。



◎ Windows Update画面で[確認する]をタップして更新のチェックを行うことができます。

電池を節約するには

電池の持続時間は、E30HTの使いかたにより大きく左右されます。次のような方法で電池を節約することができます。

- E30HTを使用していないときは、電源ボタンを押して画面をオフにしておきます。
- Today画面の電池アイコン(🔋)をタップします。電源設定画面の[詳細設定]タブで自動的にE30HTの画面がオフになるタイミングを設定することができます。電池を最大限に節約するには、3分以内の設定を推奨します。
- microSDメモ리카ードにアクセスしたり、ミニUSB端子に周辺機器を接続している場合、使用しないときは、E30HTから取り外してください。
- バックライトは、必要以上に明るくしないように設定し、用途に合わせて一定時間後に切れるように調整します。詳しくは、「一定時間後にバックライトを消すよう設定する」(▶P.150)をご参照ください。
- Bluetooth[®]通信機能は、使用していない場合はオフに設定します。また、ペアリングを行うときだけE30HTを検出可能にします。詳しくは、「Bluetooth[®]について」(▶P.114)をご参照ください。
- ビデオや音楽の再生音量を必要以上に大きくしないようにします。
- 使用していないプログラムは終了してください。プログラムがバックグラウンドで実行しておらず、完全に終了していることを確認します。詳しくは、「タスクマネージャ」(▶P.156)をご参照ください。
- インターネット接続を使用しないときは切断します。メールやインターネットなどの使用後は、パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、Comm Manager画面で、データ接続をオフにしてください。(▶P.152)